

宮川恵子選手、お疲れさまでした。 オリンピック報告！！

リオデジャネイロオリンピックは、日本代表史上最高の41個のメダルを獲得するなど、大興奮のうちに閉幕しました、というはどなたでもご存知の情報ですね。

セーリング競技は、68の国と地域、274艇、380人のセーラーが参加し、11日間の日程で、すっかり悪名高くなったグアナバラ湾で行われました。さて湾内の汚染問題ですが、突貫的にゴミ収集が行われたようでかなりの改善をしていた、というレポートがありました。

49erFX級は、リオデジャネイロオリンピックから正式採用された新種目で、全長4.9メートル、幅2.9メートル、重量125キログラムの船は、両側が翼のように広がり、船底が水に接する面積が他のヨットより小さく、推進力に優れ、最大速度は時速約40キロ。五輪種目では最速を誇り「海のF1」とも呼ばれる、のだそうです。

24期の平井（旧姓：米内）氏の次女である、宮川恵子選手とパートナーの高野芹奈選手のペアの結果は、12レースが行われ、参加20か国中、総合20位と厳しい結果でした。

われらが宮川選手は、現役の集大成としてオリンピックに臨みましたが、高野選手は大学生とまだまだ若く、東京五輪をニラんでいます。大変残念な結果ではありましたが、新種目でもあり、きっと次の東京大会には、この経験が繋がっていくのではないのでしょうか。

セーリングそのものが注目度の低い競技でしたが、女子470級では、惜しくもメダルを逃す第5位という成績。これを機会に、セーリングにも目を向けていきたいですね！

宮川選手、お母様の平井さん、おつかれさまでした！

女子49erFX級

宮川・高野 21(UFD)-15-20-19-18-20-20-19-21(UFD)-19-19-20 総合20位

尚、レースの様子はNHKオンラインのリオオリンピック特設ページにて第3レースの実況中継を無料で視聴することができます。

